

# 北九州市子ども・子育て支援に関する 市民アンケート調査

報告書  
(概要版)

北九州市子ども家庭局



# 目次

## I. 調査の概要

■調査の目的	1
■調査方法	1
■調査期間	1
■調査対象及び回収結果	1
■調査実施機関	1
■調査・分析上の注意	1
1. 子育ての楽しさ、悩みや不安など	2
(1) 子育てを楽しいと感じることはあるか	2
(2) 子育て・教育への悩みや不安	2
(3) 子育て・教育への悩みや気になること【複数回答】	3
(4) 子育てに対する地域の支えの感じ方	3
2. 子育て支援事業の認知度、より力を入れてほしい子育て支援策など	4
(1) 市の子育て支援事業の「利用経験」と「今後の利用意向」(就学前児童のみ)【複数回答】	4
(2) 子育て情報の入手先【複数回答】	5
(3) 市により力を入れてほしい子育て支援策【複数回答】	5
3. 教育・保育施設の利用状況	6
(1) 平日に定期的に利用する教育・保育施設の利用状況	6
(2) 平日に定期的に利用している教育・保育施設【複数回答】	6
(3) 定期的に教育・保育施設を利用している理由	6
4. 子どもの生活状況	7
(1) 同居等の状況【複数回答】	7
(2) 子どもの平均睡眠時間	7
(3) 子どもが外で遊ぶ時間	8
(4) 一週間の朝食を食べる頻度(就学前児童)	8
(5) 子どもの携帯電話・スマートフォン・タブレット等の通信機器の所有状況(小学生、中高生)	9
(6) 子どもの携帯電話・スマートフォン・タブレット等を一日に使用する時間	9
5. 保護者の就労状況等	10
(1) 母親の就労状況	10
(2) 世帯全体の年収(小学生・中高生)	10
(3) 共育て(家事・育児)の状況(就学前児童)	11
6. 中学生・高校生の意見	12
(1) 生活への満足度	12
(2) 自分の周りへの意見表明	12
(3) 自分の意見に対する大人の聞く態度	12
(4) 自分が居心地よく安心できる居場所【複数回答】	13
(5) 日頃の悩みや不安、その相談相手【複数回答】	13
(6) 自分の将来に対する希望	13
7. 18歳～39歳の意見(結婚や出産等について)	14

(1) 就労形態 .....	14
(2) 結婚の状況 .....	14
(3) 未婚者の結婚観 .....	14
(4) 結婚していない理由【複数回答】 .....	15
(5) 希望する・予定している子どもの数 .....	15
(6) 希望する子どもの人数より、予定している子どもの人数が少ない理由 【複数回答】 .....	16
(7) 「共育て」の推進に必要なこと 【複数回答】 .....	16

# I. 調査の概要

## ■調査の目的

本調査は、令和6年度に策定する(仮称)次期「北九州市子どもプラン」の基礎資料にするとともに、今後の子ども家庭施策を実施するにあたり、参考とするため、家庭の状況や子育ての実態、保護者の意識などについて把握することを目的に実施したものの。

## ■調査方法

郵送・WEB 調査併用

## ■調査期間

令和6年1月10日～令和6年1月31日

## ■調査対象及び回収結果

調査対象	配布数	有効回収数	有効回収率
就学前児童の保護者（調査票Aを配布）	5,000	2,314	46.3%
就学前児童の保護者（調査票Bを配布）	3,000	1,515	50.5%
小学生の保護者	3,000	1,391	46.4%
中学・高校生の保護者	3,000	1,181	39.4%
中学・高校生本人	3,000	1,117	37.2%
18歳から39歳の男女	3,000	914	30.5%
計	20,000	8,432	42.2%

※対象者は住民基本台帳より無作為抽出

調査票A:子どもと家庭の状況や就労状況のほか、教育・保育施設の利用状況等についての調査

調査票B:子どもと家族の状況や子育て状況のほか、子育て支援事業の利用状況についての調査

## ■調査実施機関

北九州市子ども家庭局子ども家庭部総務企画課（集計分析:株式会社日本統計センター）

## ■調査・分析上の注意

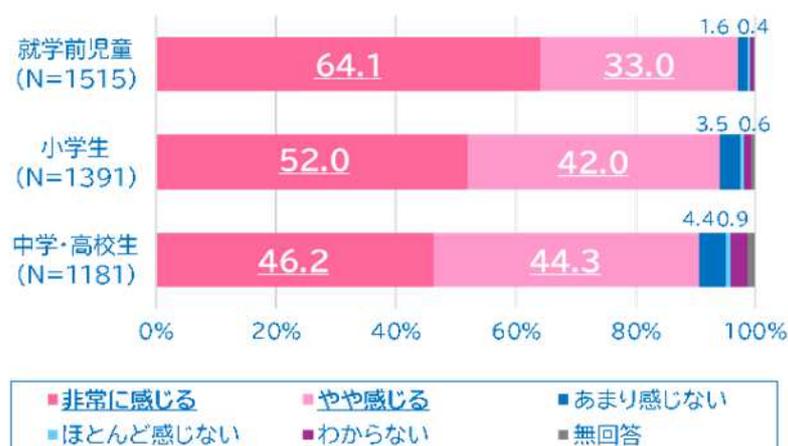
- ・図表においては、サンプル数を「N」で表記した。
- ・比率は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。また、複数回答の質問については、合計が100%を超えることがある。
- ・報告内容で、
  - 「就学前」とは、就学前児童の保護者を対象とした調査結果
  - 「小学生」とは、小学生の保護者を対象とした調査結果
  - 「中高生」とは、中学・高校生の保護者を対象とした調査結果を示している。

## Ⅱ. 調査結果

### 1. 子育ての楽しさ、悩みや不安など

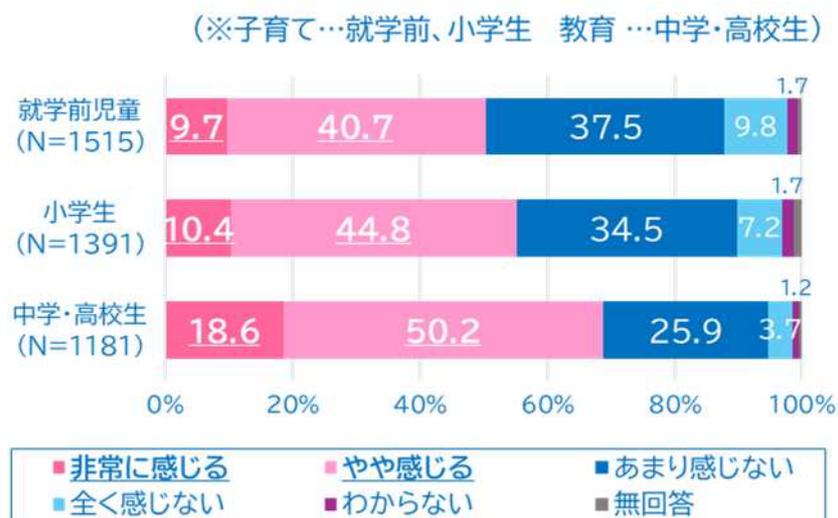
#### (1) 子育てを楽しんでいると感じることはあるか

子育てを楽しんでいると感じる「非常に感じる」「やや感じる」と答えた割合は、就学前は、97.1%、小学生は、94.0%、中高生は、90.5%となっている。「あまり感じない」「ほとんど感じない」は、就学前児童は2.0%、小学生の保護者は、4.1%、中高生の保護者は、5.3%となっている。



#### (2) 子育て・教育への悩みや不安

子育てや教育に関して、悩みや不安などを「非常に感じる」「やや感じる」と答えた割合は、就学前は50.4%、小学生は55.2%、中高生は68.8%となっている。「あまり感じない」「全く感じない」は、就学前は11.5%、小学生は8.9%、中高生は4.9%となっている。



(3) 子育て・教育への悩みや気になること【複数回答】

子育てに関して、日常悩んでいることや気になることは、就学前は「食事や栄養に関すること」が36.6%で最も高い。次いで「病気や発育・発達に関すること」が35.0%、「子どもを叱りすぎているような気がする」と27.6%となっている。

小学生は「子どもの教育に関すること」が36.4%で最も高く、次いで「病気や発育・発達に関すること」が27.1%、「子どもを叱りすぎているような気がする」と25.7%となっている。

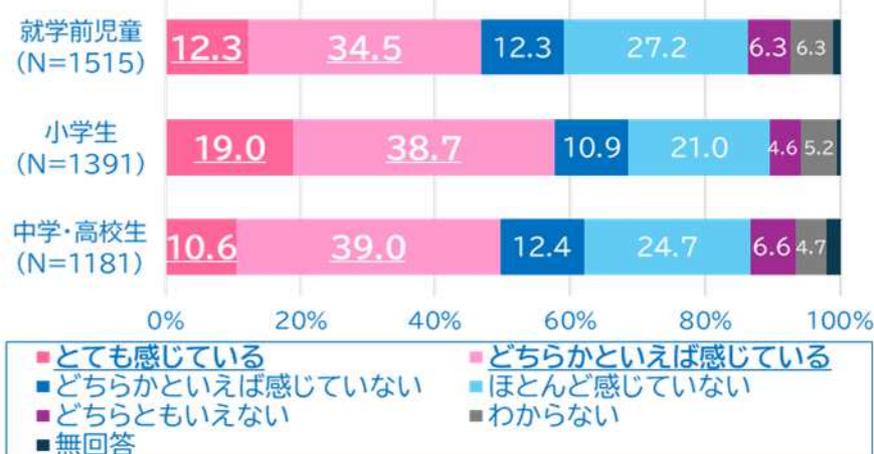
中高生は「卒業後の進路に関すること」が48.1%で最も高く、次いで「子育ての出費がかかること(経済的負担)」が46.7%、「子どもの学業(成績等)に関すること」が45.8%となっている。

	就学前 (N=1515)		小学生 (N=1391)		中学・高校生(N=1181)	
1	食事や栄養	36.6%	教育	36.4%	卒業後の進路	48.1%
2	病気、発育 発達	35.0%	病気、発育 発達	27.1%	経済的負担	46.7%
3	叱りすぎて いないか	27.6%	叱りすぎて いないか	25.7%	学業 (成績等)	45.8%
4	経済的負担	26.2%	経済的負担	25.3%	将来の就職	43.9%
5	教育	24.6%	友達つきあい (いじめ含む)	21.9%	基本的生活 習慣	22.8%

(4) 子育てに対する地域の支えの感じ方

子育てが地域の人に支えられていると感じるかは、「とても感じる」「どちらかといえば感じている」と答えた割合は、就学前が46.8%、小学生が57.7%、中高生が49.6%、「どちらかといえば感じていない」「ほとんど感じていない」と答えた割合は、就学前が39.5%、小学生が31.9%、中高生が37.1%となっている。

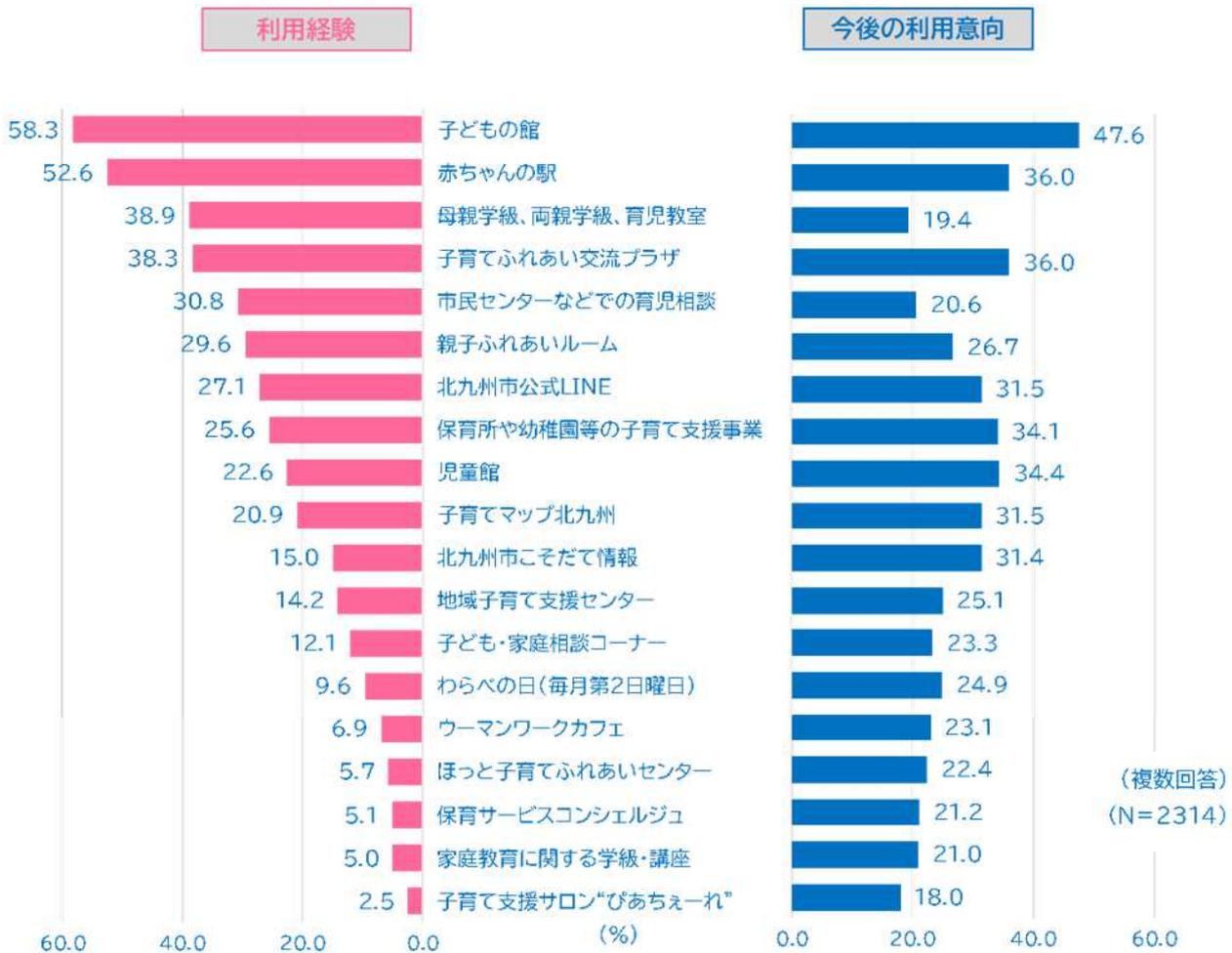
(※地域…ご近所、自治会、市民センター、親子ふれあいルーム、児童館など)



## 2. 子育て支援事業の認知度、より力を入れてほしい子育て支援策など

### (1) 市の子育て支援事業の「利用経験」と「今後の利用意向」(就学前児童のみ)【複数回答】

これまでに利用したことがあるものは、「子どもの館」が 58.3%と最も多く、「赤ちゃんの駅」が 52.6%、「母親学級、両親学級、育児教室」が 38.9%となっている。今後利用したいと思うものは、「子どもの館」が 47.6%「赤ちゃんの駅」「子育てふれあい交流プラザ」が 36.0%、「児童館」が 34.4%となっている。



(2) 子育て情報の入手先 【複数回答】

子育てに関する情報の入手先は、年齢区分に関わらず「親族や友人、知人など」が最も高く、就学前が75.1%、小学生が72.7%、中高生が76.9%となっている。

次いで、就学前では「保育所、幼稚園、認定こども園など」52.3%、「X(旧 Twitter)、Instagram、LINE等のSNS」50.2%、小学生では「学校」53.5%、「ホームページ等のインターネットサイト」26.7%、「X(旧 Twitter)、Instagram、LINE等のSNS」22.0%、中高生では「学校」48.6%、「ホームページ等のインターネットサイト」32.6%となっている。

	就学前 (N=1515)		小学生 (N=1391)		中学・高校生 (N=1181)	
1	親族や友人 知人	75.1 %	親族や友人 知人	72.7 %	親族や友人 知人	76.9 %
2	保育所、 幼稚園など	52.3 %	学校	53.5 %	学校	48.6 %
3	SNS	50.2 %	インター ネット(HP)	26.7 %	インター ネット(HP)	32.6 %
4	インター ネット(HP)	25.1 %	SNS	22.0 %	テレビ・ラジオ	18.7 %
5	テレビ・ラジオ	10.6 %	市の発行物 (市政だより等)	19.1 %	市の発行物 (市政だより等)	16.8 %

(3) 市により力を入れてほしい子育て支援策 【複数回答】

より力を入れてほしい子育て支援策は、未就学児は「子育てに関する公的な経済的支援」が55.8%で最も高く、「安心して子育てと仕事を両立できる職場環境」が46.1%、「安心して妊娠・出産、子育てできる医療体制」が36.7%、「子育て家庭が利用しやすい、公園や子育て支援施設等」が34.0%、「入所・入園しやすく、多様なニーズにこたえられる保育所・幼稚園など」が31.7%となっている。

小学生は「いつでも安全・安心に過ごせる公園や施設」が43.8%で、「救急医療をはじめとする子どもの医療体制」が42.7%、「子育てに関する公的な経済的支援」41.9%、「安心して子育てと仕事を両立できる職場環境」が28.5%、「学校以外での学習支援」が19.5%となっている。

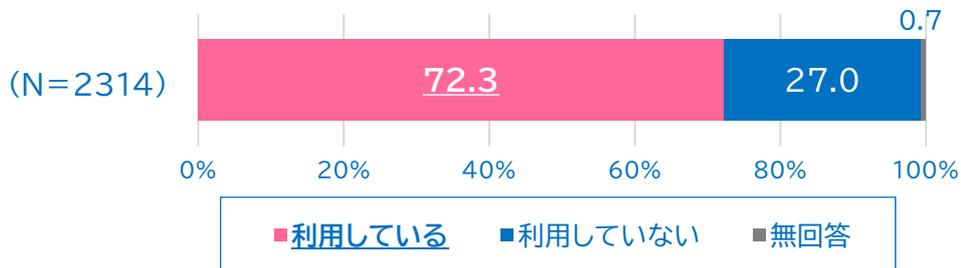
中高生は「子育てに関する公的な経済的支援」が49.7%で最も高く、「救急医療をはじめとする子どもの医療体制」が38.9%、「安心して子育てと仕事を両立できる職場環境」が37.3%、「いつでも安全・安心に過ごせる公園や施設」が28.0%、「学校以外での学習支援」が24.0%となっている。

	就学前 (N=1515)		小学生 (N=1391)		中学・高校生 (N=1181)	
1	経済的支援	55.8 %	安全安心な 公園や施設	43.8 %	経済的支援	49.7 %
2	子育てと仕事を 両立できる 職場環境	46.1 %	救急医療を はじめとする 医療体制	42.7 %	救急医療を はじめとする 医療体制	38.9 %
3	安心して妊娠・ 出産・子育てで できる医療体制	36.7 %	経済的支援	41.9 %	子育てと仕事を 両立できる 職場環境	37.3 %
4	利用しやすい 公園や子育て 支援施設	34.0 %	子育てと仕事を 両立できる 職場環境	28.5 %	安全安心な 公園や施設	28.0 %
5	入所しやすく多様 なニーズに対応 した保育所等	31.7 %	学校以外で の学習支援	19.5 %	学校以外で の学習支援	24.0 %

### 3. 教育・保育施設の利用状況

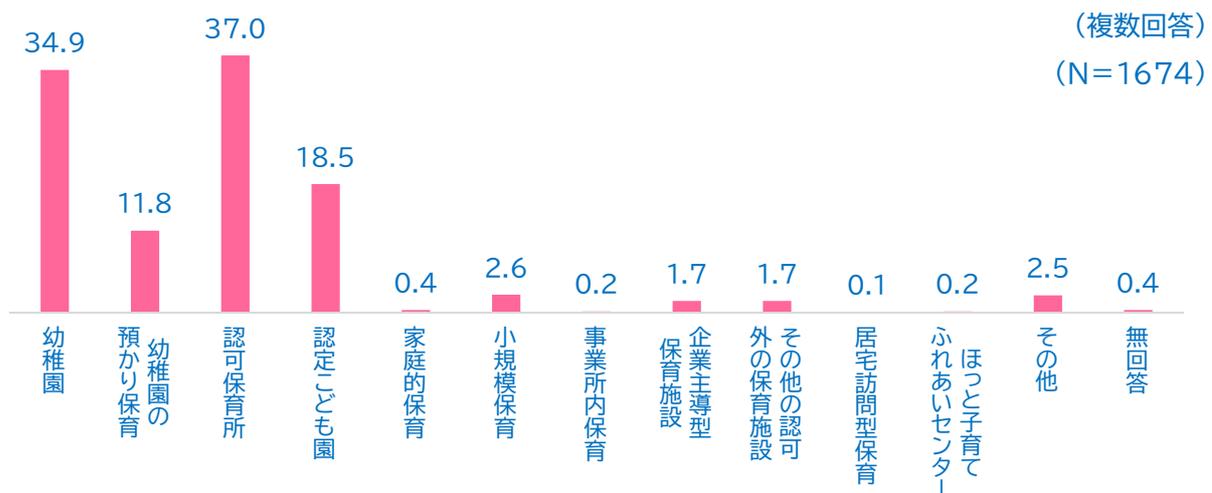
#### (1) 平日に定期的に利用する教育・保育施設の利用状況

平日に定期的な教育・保育施設を「利用している」割合は72.3%、「利用していない」が27.0%となっている。



#### (2) 平日に定期的に利用している教育・保育施設【複数回答】

平日に定期的に利用している教育・保育施設は、「認可保育所」が37.0%で最も高く、次いで「幼稚園(通常の就園時間の利用)」34.9%、「認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)」18.5%、「幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)」11.8%となっている。



#### (3) 定期的に教育・保育施設を利用している理由

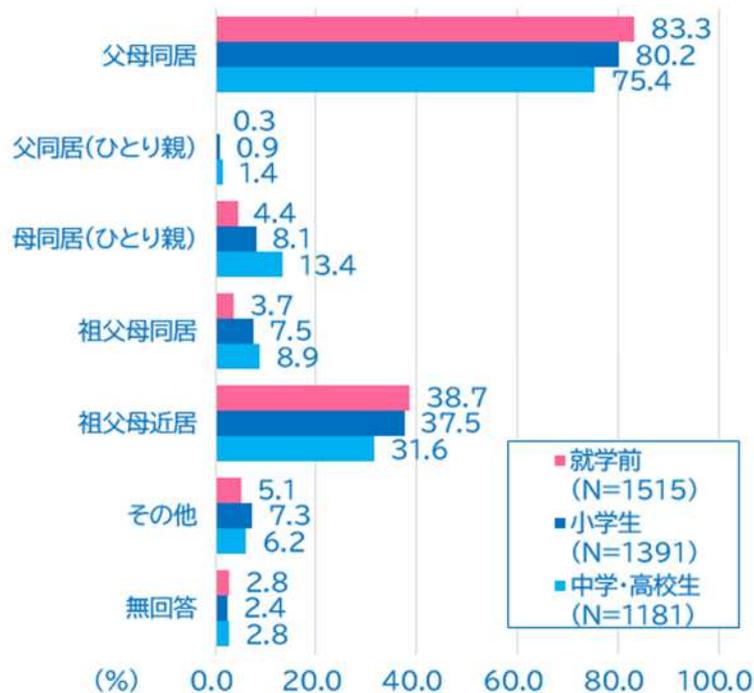
定期的に教育・保育施設を利用している理由は、「子育てをしている保護者が、現在就労している」が58.2%で最も高く、「こどもの教育や発達のため」が35.8%となっている。



## 4. 子どもの生活状況

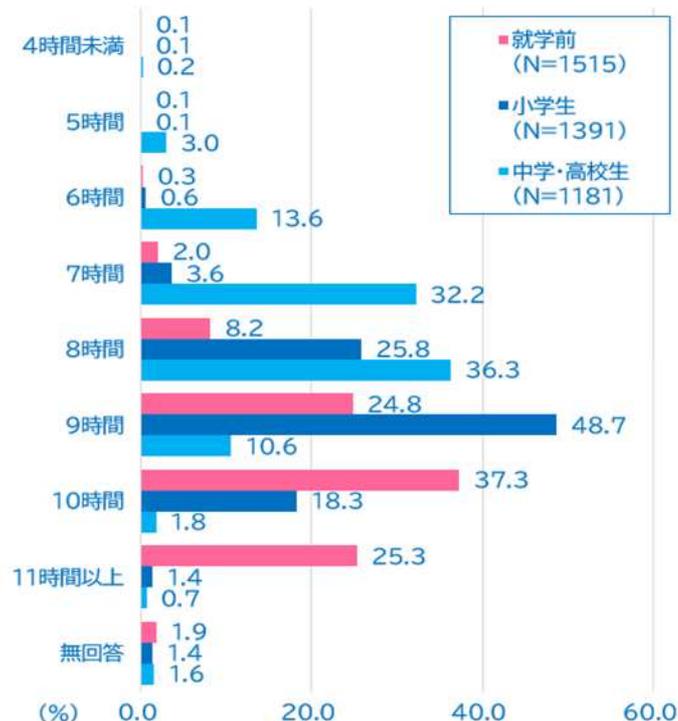
### (1) 同居等の状況【複数回答】

子どもと同居している人、または近居(概ね30分以内に行き来できる範囲)している人については、年齢区分に関わらず「父母同居」が最も多く、就学前が83.3%、小学生が80.2%、中高生が75.4%となっている。次いで「祖父母近居」が多く、就学前が38.7%、小学生が37.5%、中高生が31.6%となっている。



### (2) 子どもの平均睡眠時間

1週間の平均的な睡眠時間について、就学前は「10時間」37.3%、小学生は「9時間」48.7%、中高生は「8時間」36.3%がそれぞれ最も多くなっている。

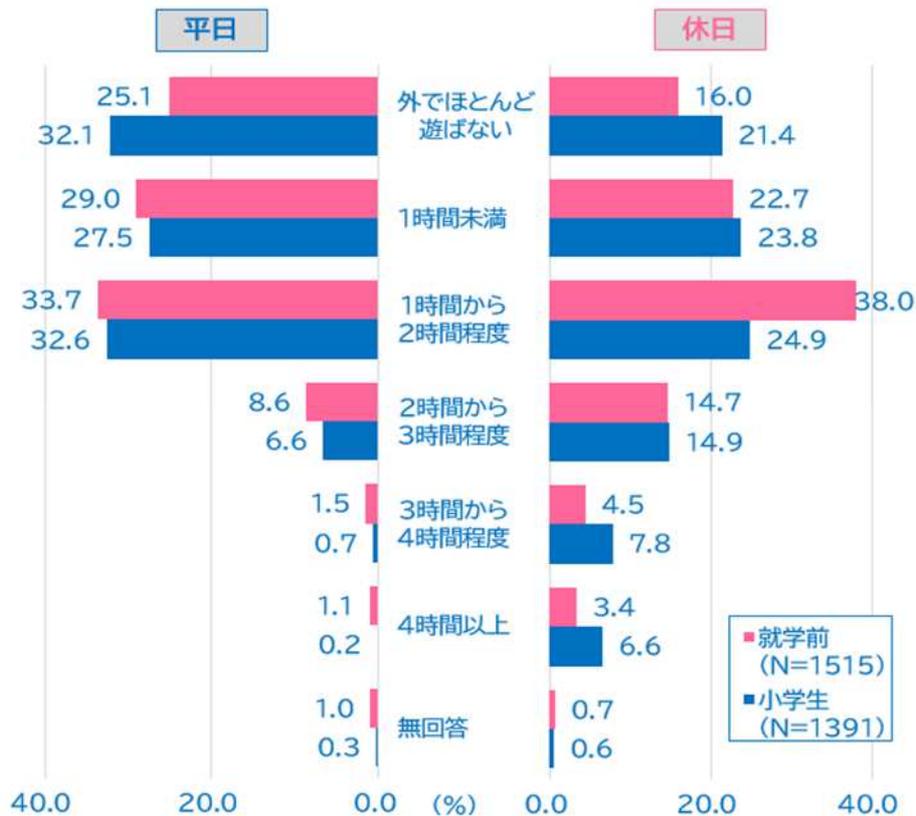


### (3) 子どもが外で遊ぶ時間

平日にこどもが一日外で遊ぶ時間は、就学前は「1時間から2時間程度」が33.7%、「1時間未満」が29.0%、「外ではほとんど遊ばない」が25.1%である。小学生は、「1時間から2時間程度」が32.6%、「1時間未満」が27.5%、「外ではほとんど遊ばない」が32.1%である。

一方、休日にこどもが一日外で遊ぶ時間は、就学前は「1時間から2時間程度」が38.0%、「1時間未満」が22.7%、「外ではほとんど遊ばない」が16.0%である。小学生は「1時間から2時間程度」が24.9%、「1時間未満」が23.8%、「外ではほとんど遊ばない」が21.4%となっている。

2時間以上外で遊ぶこどもの割合は、就学前、小学生とも平日より休日で長く、就学前で22.6%、小学生で29.3%となっている。



### (4) 一週間の朝食を食べる頻度(就学前児童)

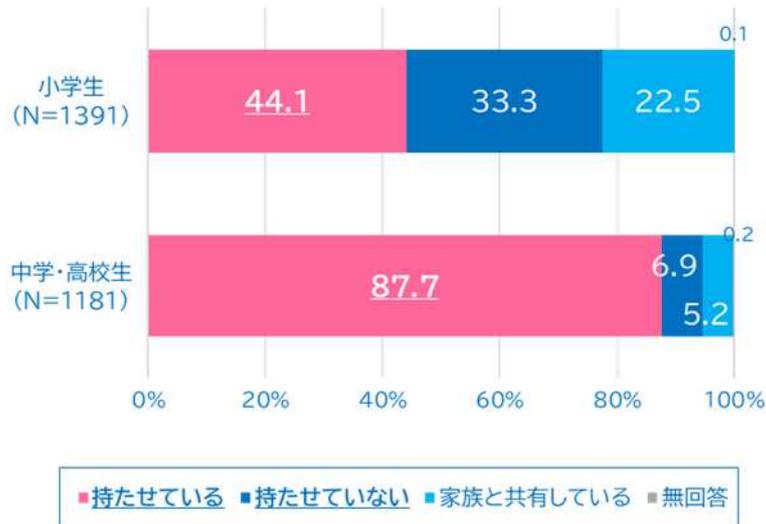
1週間の朝食を食べる頻度については、「毎日食べる」が87.6%と最も多く、次いで「週に3, 4日」2.6%、「週に1, 2日」1.0%となっている。



(5) 子どもの携帯電話・スマートフォン・タブレット等の通信機器の所有状況(小学生、中学生)

子どもの携帯電話・スマートフォン、タブレット等の通信機器の所有状況については、小学生は「持たせている」が44.1%、「持たせていない」が33.3%、「家族と共有している」が22.5%となっている。

一方、中学生は「持たせている」が87.7%、「持たせていない」が6.9%、「家族と共有している」が5.2%となっており、所有率が、約2倍に増えている。

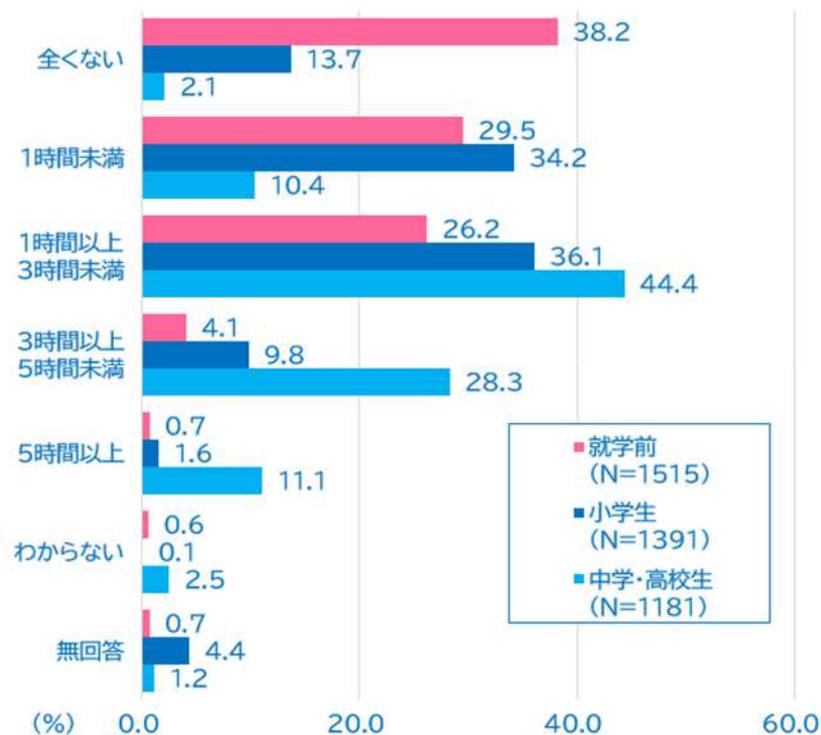


(6) 子どもの携帯電話・スマートフォン・タブレット等を一日に使用する時間

子どもが1日に携帯電話・スマートフォン、タブレット等を使用する時間は、就学前は「全くない」が38.2%で最も高く、次いで「1時間未満」が29.5%、「1時間以上3時間未満」が26.2%となっている。

小学生は「1時間以上3時間未満」が36.1%で最も高く、次いで「1時間未満」が34.2%、「3時間以上5時間未満」が9.8%となっている。

中学生は「1時間以上3時間未満」が44.4%で最も高く、次いで「3時間以上5時間未満」が28.3%、「5時間以上」が11.1%となっており、年齢が上がるるとともに使用時間が長くなっている。



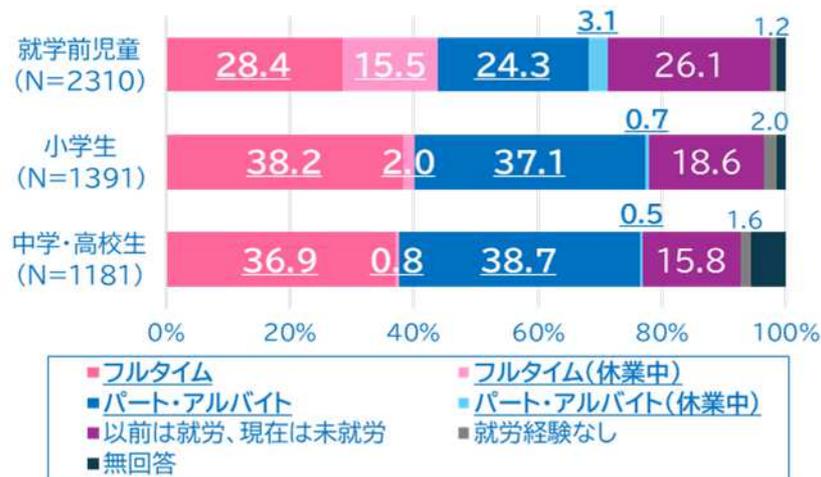
## 5. 保護者の就労状況等

### (1) 母親の就労状況

就学前、小学生の母親は「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が最も高く、就学前が28.4%、小学生が38.2%となっている。

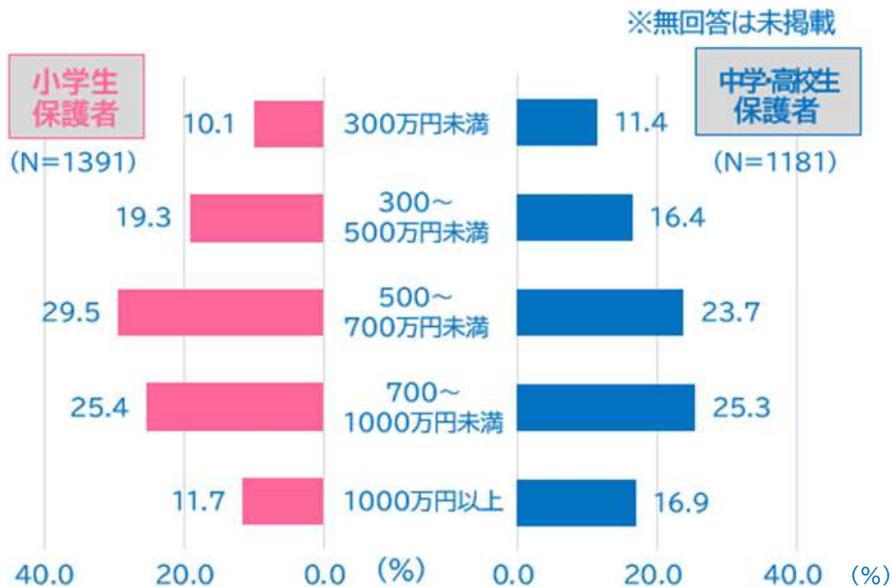
次いで、就学前は「以前は就労していたが、現在は就労していない」26.1%、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」24.3%、小学生は「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」37.1%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」18.6%となっている。

一方、中高生の母親は「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が38.7%で最も高く、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」36.9%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」15.8%となっている。



### (2) 世帯全体の年収(小学生・中高生)

世帯全体の年収は、小学生は「500～700万円未満」が29.5%、中高生は「700～1000万円未満」が最も多く、次いで小学生は「700～1000万円未満」が25.4%、中高生は「500～700万円」が23.7%となっている。



(3) 共育で(家事・育児)の状況(就学前児童)

子どもの父母が仕事のある日に、それぞれ家事や育児にどの程度時間を費やしているかを尋ねたところ、家事については、母親は「3時間台」16.6%、「2時間台」15.7%、「4時間台」11.1%となっている中、父親は「1時間台」23.2%が最も多く、次いで「30分以上1時間未満」15.7%、「2時間台」9.6%となっている。

一方、育児については、母親は「2時間台」12.1%、「4時間台」11.0%、「3時間台」9.9%となっている中、父親は「1時間台」27.4%が最も多く、次いで「2時間台」16.4%、「30分以上1時間未満」9.6%となっている。



## 6. 中学生・高校生の意見

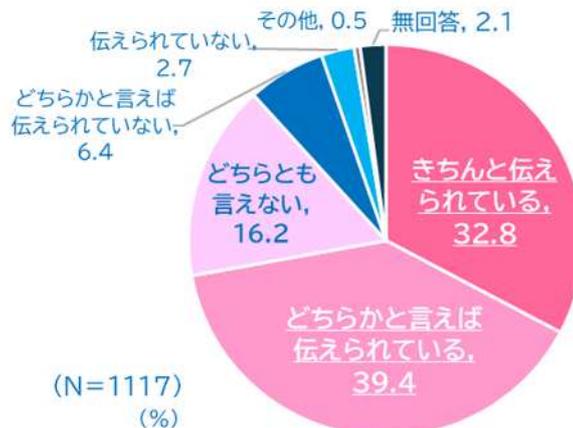
### (1) 生活への満足度

現在の生活に、「満足している」「どちらかと言えば満足している」と答えた割合は、83.6%、「どちらかと言えば満足していない」「満足していない」と答えた割合は、4.2%となっている。



### (2) 自分の周りへの意見表明

その下の自分の周りへの意見表明について、「きちんと伝えられている」「どちらかと言えば伝えられている」と答えた割合は72.2%、「どちらかと言えば伝えられていない」「伝えられていない」と答えた割合は9.1%となっている。



### (3) 自分の意見に対する大人の聞く態度

自分の意見に対する大人の聞く態度について、「きちんと聞いてくれる」「どちらかと言えば聞いてくれる」と答えた割合は84.6%、「どちらかと言えば聞いてくれない」「聞いてくれない」と答えた割合は、2.6%となっている。



(4) 自分が居心地よく安心できる居場所【複数回答】

居心地良く安心できる居場所について、「自分の家」が 93.6%と最も多く、次いで「学校」30.9%、「親族の家」28.2%となっている。

(N=1117)			(複数回答)		
1	自分の家	93.6%	6	ゲームセンターやカラオケ等の施設	12.6%
2	学校	30.9%	7	公園	11.8%
3	親族などの家	28.2%	8	ファミリーレストランやファストフード店等	8.3%
4	学校の部活動等の活動の場所	15.2%	9	学習塾や予備校等	6.2%
5	インターネット・SNS等のオンライン空間	14.2%	10	市民センターや図書館等の公共施設	5.8%

(5) 日頃の悩みや不安、その相談相手【複数回答】

日頃悩んでいることや気になることは、「将来や進路のこと」が 51.3%と最も多く、次いで「勉強に関すること」が 47.9%、「友人や知り合いに関すること」が 11.4%となっている。

悩み事や困りごとを相談する相手は、「母親」が 73.6%と最も多く、次いで「友人」が 65.1%、「父親」が 37.1%となっている。

【悩み・不安】 (N=1117)

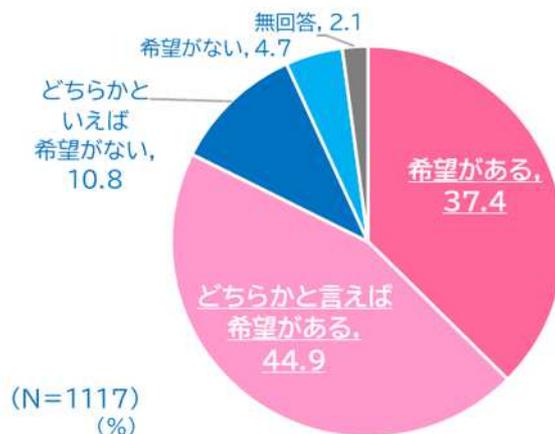
1	将来や進路	51.3%	4	外見や容姿	11.1%
2	勉強	47.9%	5	性格	10.0%
3	友達や知り合い	11.4%	6	世界で起きている災害や紛争	8.4%

【相談相手】 (N=1117)

1	母親	73.6%	4	兄弟・姉妹	25.8%
2	友人	65.1%	5	学校や塾の先生	16.2%
3	父親	37.1%	6	祖父母	10.8%

(6) 自分の将来に対する希望

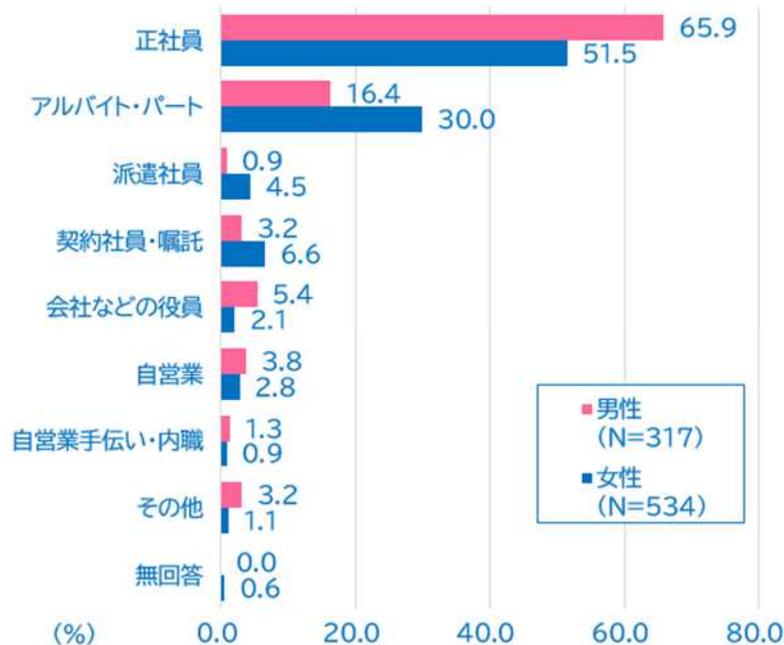
自分の将来について、「希望がある」「どちらかと言えば希望がある」と答えた割合は 82.3%、「どちらかと言えば希望がない」「希望がない」と答えた割合は 15.5%となっている。



## 7. 18歳～39歳の意見(結婚や出産等について)

### (1) 就労形態

就労形態について、男女とも「正社員」が最も多く、男性 65.9%、女性 51.5%となっている。次いで「アルバイト・パート」が男性 16.4%、女性 30.0%となっている。



### (2) 結婚の状況

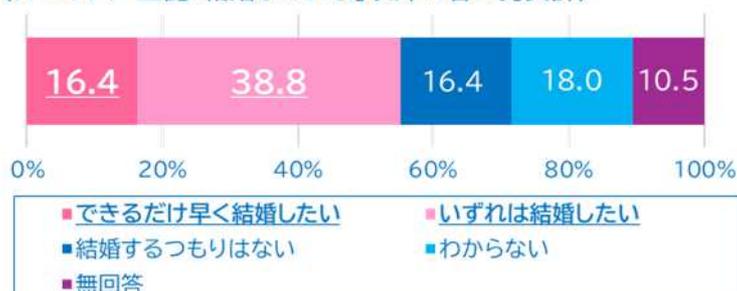
結婚の状況について、男女とも「結婚している」が最も多く、男性 43.5%、女性 49.5%となっている。



### (3) 未婚者の結婚観

結婚していないと回答した人に結婚に対する考えを尋ねたところ、「できるだけ早く結婚したい」「いずれは結婚したい」と答えた割合は、55.2%となっている。

(N=477 上記「結婚している」以外の者の男女計)



#### (4) 結婚していない理由【複数回答】

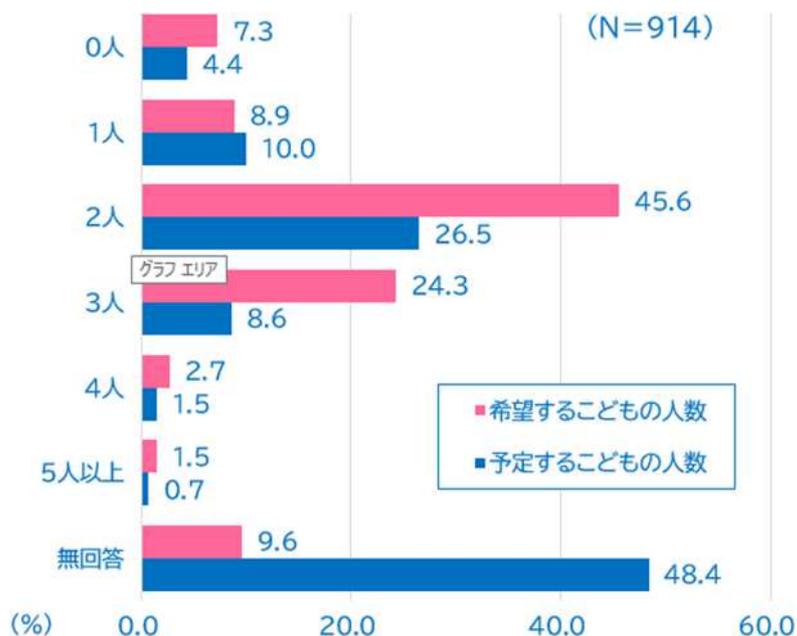
結婚していない理由については、「適当な人に巡り会わない」が35.4%と最も多く、次いで「自由な生活や気楽さを失いたくない」が26.2%、「趣味や好きなことを楽しみたい」が22.2%となっている。



#### (5) 希望する・予定している子どもの数

希望している子どもの人数と実際に予定している子どもの人数について、希望している人数は「2人」が45.6%、「3人」が24.3%となっている。

実際に予定している人数は、「2人」が26.5%、「1人」が10.0%となっている。



(6) 希望する子どもの人数より、予定している子どもの人数が少ない理由【複数回答】

理由については、「子育てにお金がかかるから」が68.6%と最も多く、「子育ての身体的な負担が大きいため」が36.1%、「子育ての精神的負担が大きいため」が30.4%となっている。



(7) 「共育て」の推進に必要なこと【複数回答】

今後男女がともに子育てをしていく「共育て」の推進のために必要と思うことについて、「育児に関する休暇・休業制度を利用しやすい職場環境の整備」が46.2%と最も多く、「夫婦間の十分な話し合い、家事等の分担」が44.1%、「労働時間短縮や育児に関する休暇・休業制度の普及」が42.1%となっている。

